

平成25年11月8日

枚方市都市景観基本計画【改訂版】(案)に係るe-アンケートの結果について

枚方市都市景観基本計画【改訂版】(案)に係るe-アンケートにつきまして、市民の皆さまからご意見をいただき、ありがとうございました。お寄せいただきましたご意見と、ご意見に対する都市景観審議会及び本市の考え方を以下のとおり公表します。

I. 意見募集期間

平成25年8月9日から平成25年9月8日

II. 意見の受付方法

インターネットアンケート専用ホームページへの入力、郵送、ファックス、電子メール、意見回収箱へ投函

III. 意見提出者数及び内訳

意見提出者 4人(意見数 7件)

方法	入力フォーム	郵送	ファックス	電子メール	投函
人数	3				1

IV. 項目別意見数

意見の寄せられた項目	意見数
全 体	4
序 章	0
第1章	1
第2章	0
第3章	0
第4章	1
第5章	1

V. 各ご意見の概要と審議会及び市の考え方

1.

項目	意見の内容	審議会及び市の考え方
全体	<p>自然資源、歴史資源、街資源等についての追及は十分具体的にされている。</p> <p>しかし、景観とは目に映る物だけではないと思う。「豊かで潤いのあるまち、訪れたいまち、住みたいまち、魅力的なまちづくり」等の表現はあるが具体的な追及が弱いと思う。</p>	<p>都市景観基本計画では「豊かで潤いのあるまち、訪れたいまち、住みたいまち、魅力的なまちづくり」の実現にむけ、「第3章 景観づくりの目標と方針」から「第4章 地域への展開」において、各区域毎に景観形成方針を示すとともに、ゾーンなどを設定することにより地域特性にあった景観誘導や景観整備を図るなど、具体的な記述に努めています。また、関連構想・関連プロジェクトとして、具体的な施策を掲げています。</p> <p>今後も、「魅力的なまちづくり」めざし、継続した取り組みをいたします。</p>

<p>1 章</p>	<p>「魅力にあふれ、生き生きとしたまち」「健康で心豊かな自立と共生のまち」「ふれあい、学びあい、感動できるまち」とあるがどのようにしていくのかが何もない。</p>	<p>ご指摘の表現は、「第4次枚方市総合計画（第2期基本計画）に見る景観形成の考え方」（8頁）において、総合計画のうち景観に関わる主な「基本目標」を記述したものです。</p> <p>それを受けた施策目標（同頁）の実現に向け、それぞれ、景観の側面からの施策展開を図っています。</p> <p>第2章で「枚方市の景観特性」を分析し、第3章にかかげる「景観づくりの目標と方針」を踏まえ、第4章で「地域への展開」として「景観構想図」等を示しています。第5章では「景観形成推進に向け」推進体制の整備や支援策の確立、規制・誘導の実施等を記述しています。</p> <p>例えば、基本目標「ふれあい、学びあい、感動できるまち」には、施策目標のひとつとして、「歴史文化遺産を保存し、活用する」を掲げています。</p> <p>一例としては、第2章の「歴史景観特性」（11頁）において「枚方の成り立ちを今に伝えている旧枚方宿のまちなみは、…保全活動が取り組まれ」とし、第3章「歴史景観」（28頁）では、「街道沿いに残る歴史的なまちなみや道標・燈籠・巨木などの資源を保全・活用します」としています。また、第4章「枚方宿・万年寺山歴史ゾーン」（41頁）では「御茶屋御殿跡展望広場など良好な眺望の保全活用」「伝統的町家の外観の保全や歴史イメージを高める建築デザインの誘導」を行うとしています。そして、関連プロジェクトには、枚方宿地区における歴史的な景観を保全する事業として「街なみ環境整備事業」を示しています。</p> <p>今後、この基本計画に基づき、各施策の具体化を図ることとします。</p>
------------	--	--

2.

項目	意見の内容	審議会及び市の考え方
全体	<p>現状容認だけでこれからどのような都市計画作りをしようとしているのか市としての思いが見えてこない。</p> <p>特に市の玄関である枚方市駅の存在感が薄い、北玄関以上に魅力ある街作りが必要。</p> <p>また他府県の人が誰でも知っている枚方パーク（菊人形）をもっとアップすべき。</p>	<p>都市景観基本計画では、「住みたい、住み続けたいと思える魅力的なまちづくり」に向け「都市の美しさ・都市に住む快適さ・都市に遊ぶ楽しさ・自然環境との調和などを重視し、あらたな魅力をまちにつくりだす」ために「枚方市がめざす将来の都市像の実現に向け、基本的な方向を景観という面から示して」（2頁）います。</p> <p>第2章で、「市の景観特性」を捉え、第3章で、「景観づくりの目標と方針」を定め、第4章では、それぞれの地域特性に合った良好な景観形成をめざすため、「地域への展開」として、景観の課題と方向性、景観形成の方針を示しています。</p> <p>枚方市駅周辺の魅力あるまちづくりでは、景観の面から第4章で、「枚方市駅ゾーン」（40頁）として「都市核としてのイメージの向上」を図り、「文化・情報があふれ活力ある都市空間を創造」、「文化交流活動の拠点となる施設の充実」を図るとしています。また、関連構想として、市駅周辺地域におけるまちの将来像を示した枚方市駅周辺再整備ビジョン（※1）を掲げています。</p> <p>また、枚方パークは、「枚方公園駅ゾーン」（60頁）において、「観光レクリエーション資源」、「景観のランドマーク」（61頁）として位置づけ、地域特性を活かした景観形成をめざします。</p> <p>※1 こちら「枚方市駅周辺再整備ビジョン」ご参照ください。 http://www.city.hirakata.osaka.jp/site/sieki-vision/</p>

<p>4 章</p>	<p>枚方を代表する東部の里山の自然保全と景観保護に行 政は勇気をもって整備すべき 明日の子供たちのために</p>	<p>東部には、生駒山系の緑、多くの農地が残り、集落とともに里山の景観を形成していることから、地域特性を活かした景観形成（80 頁）が重要です。関連構想として里山保全基本計画（※2）や氷室地域まちづくり構想（※3）を策定し、里山保全を進めるための取り組みを行っています。</p> <p>また、市民にやすらぎやうるおいを与える施策として、景観形成推進事業に取り組み、レンゲ、コスモス、ひまわりなどの作付けに対する補助を行い、良好な景観を推進し、農空間の保全を図っています。</p> <p>今後、景観計画（※4）の策定にあたり、「生駒の山なみと調和したまち」「豊かな自然環境と自然との交流空間」など地域特性を活かし、積極的に景観形成に取り組むよう区域の指定に向け検討します。</p> <p>※2 こちら「枚方の里山保全について」をご参照ください。 https://www.city.hirakata.osaka.jp/soshiki/zaisanku/satoyama/hozen.html</p> <p>※3 こちら「氷室地域まちづくり構想」をご参照ください。 http://www.city.hirakata.osaka.jp/soshiki/tokei/himuro-kousou.html</p> <p>※4 景観法に基づく計画のことで、景観に関する規制や景観形成の基準等を定めます。</p>
<p>5 章</p>	<p>行政、事業者、市民が景観のきれいな枚方市を作るため市 庁舎内の全部門が意識改革し指導にあたってほしい</p>	<p>良好な景観形成のためには、景観担当部だけでなく市の組織全体が、それぞれの担当業務の中で良好な景観の形成を図ることが重要です。</p> <p>平成 26 年 4 月中核市への移行とともに景観行政団体となることから、いっそう「道路・公園・建築・都市計画など庁内各組織との連携を密に」（110 頁）するとともに、良好な景観形成をめざし、制度の整備（112 頁）やそれを活用した啓発、指導に取り組めます。</p>

3.

項目	意見の内容	審議会及び市の考え方
全体	<p>枚方の魅力は何かと考えた時、古い歴史ある街並と枚方公園、自然環境だと思えます。それを最大限に生かしてPRをもっとすべきです。そして中核都市に生れると考えます。</p> <p>現在、五六市が継続して実施されていますが、これをもっと拡大してみてもどうかと思います。例えば、枚方公園のアンテナショップを枚方駅前広場に出すとか、本陣跡にビオトープを造り、ホテルを飼育して夕方鑑賞会を行い1日中、シーズンを通して楽しむとか、高齢化社会になるので淀川河川敷公園内にパターゴルフ、ゲートボール場を作り高齢者が楽しめる施設を作るとかあると思います。河川敷は交通の便も良く多くの人が集える最高の場所です。</p> <p>市民+地域の人が全体で楽しめる、何か毎日イベントをやっている町、枚方にするのも面白いし、中核都市としての役割だと思えます。</p>	<p>都市景観基本計画では、「豊かな自然や歴史をまもる」ため、「枚方を象徴する自然風景や市街地に残る自然資源を守り活かす」とともに、枚方宿地区などの「歴史的景観を守り、まちの記憶・地域の個性として活かす」(20頁)としています。また、第5章では市民・事業者・行政が互いに連携しながら一体的に取り組むこととしています。</p> <p>これまで枚方宿地区では、平成14年度から枚方宿地区街なみ環境整備事業として、地区施設整備(まちづくり拠点施設、無電柱化など道路修景整備、小公園等)、町家等修景を実施しています。</p> <p>五六市は、平成19年からはじまり、地域住民や事業者、枚方宿地区をサポートする人々が大きな力を発揮し、毎月実施されています。</p> <p>街なみの整備との相乗効果で、現在では、1回に6000人以上が来訪されることもあります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、それぞれ担当部署に伝えるとともに、今後も、豊かな自然や歴史を守り、活かした取り組みを進めます。</p>

4.

項目	意見の内容	審議会及び市の考え方
全体	<p>枚方市は「天野川」という七夕に由緒ある川や橋、地名、歴史の宝庫であり、他の町興しに天の川を使っている町にしてみたら、ポテンシャルの高い観光・文化資源が潜在的にある都市である。しかるに市長はじめ市民の認識・意識がこの潜在的観光ポテンシャルに対して弱く、宝の持ち腐れ状態ではないかと考えます。多数の大学生が枚方には集まっていることをリンクさせれば、天の川・七夕を使った街コンなど街の活性化にも大いに期待できます。天野川の潜在的ポテンシャルをもっと掘り起し、それにふさわしい景観をゾーンの的に創造していくことが必要と考えます。ゲゲの街境港市のように、街&市民が一体となって天の川で街を豊かに、人との交流を豊かにしていくコンセプトとロードマップを創造していただきたいと思います。</p> <p>具体的案としては、例えば京阪交野線の各駅にサブネームとして「天津橋前」「逢合橋前」「天の川交差点」などをつけて車両にも織姫彦星イラストをする（これは京阪電鉄の関係になりますが）。市道には「彦星ライン」「織姫らいん」などの愛称をつけ、笹や川をイメージした道路ペイントや街路樹にする。天の川には織姫彦星や夏の大三角形などの星をイメージしたモニュメントあるいは（堤防面などに）ペイントをする。要は、天の川（織姫彦星など）をコンセプトとしたテーマ性のある景観にすることで、「天の川のある文化・観光の街＝ひらかた」を目指していただけたら幸いです。</p>	<p>都市景観基本計画では、天野川沿岸を「今後景観形成を行うべき景観のフレーム」（13頁）として位置づけ、「市民が身近に水に親しみ自然とふれあうことのできる空間として活用」（25頁）することを景観形成の方向として示しています。</p> <p>また、天野川景観軸（101頁）として、「枚方の中心市街地を流れる七夕伝説にふさわしい川を活かした街なみの形成を図り」、「水と親しめるよう橋詰に拠点となる広場」や、「散策できる水辺」を活用し、「七夕伝説にふさわしいロマンを演出」（103頁）するとしています。</p> <p>今後、景観計画（※4）の策定にあたり、天野川の特性を活かし積極的に景観形成に取り組むよう区域の指定に向け検討します。</p> <p>ご提案の内容につきましては、担当部署に伝えるとともに、豊かな自然を守り、それぞれの特性を活かした景観形成に取り組むことで、観光資源としての活用が広がると考えています。</p>

VI. 枚方市都市景観基本計画【改訂版】(案)への反映

原案どおりといたします。